

## 【Dグループ】 グループ研修の内容

### 1. 題材における「ファランドール」の位置付けを考える。

表現と鑑賞の関連を図った題材構成において、鑑賞の学習の位置付けを意見交換する。

- ⇒ ・歌唱①→鑑賞(2時間)→歌唱②→器楽
- ⇒ ・歌唱①②→鑑賞(2時間)→器楽

### 2. 鑑賞の学習(2時間)の評価規準を検討する。

題材の目標から、鑑賞の学習の評価規準を考える。

#### 題材の目標

- ・旋律や音が重なり合う響きを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりすることができるようにする。
- ・互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ち合わせて演奏することができるようにする。

#### 評価規準

※鑑賞の学習(2時間)の授業の流れを3つのグループに分かれ、それぞれに検討するなかで、評価規準を考える。

### 3. この題材の鑑賞の学習(2時間)で扱う[共通事項]を絞り込み具体的にとらえる。

速度：「王の行進」と「馬のダンス」の速度の違い はじめの「王の行進」の旋律と、「馬のダンス」が重なった部分の速度の違い
旋律：ア「王の行進」、イ「馬のダンス」の旋律 「王の行進」の堂々とした感じの旋律と「馬のダンス」の軽く弾んだ感じの旋律
強弱：はじめの「王の行進」のフォルテと、最初に出てくる「馬のダンス」のピアノの違い 前半の「馬のダンス」の強弱の変化
音の重なり：アイ2つの旋律の重なり、追いかっこ
反復：「王の行進」と「馬のダンス」の旋律の連続した反復
問いと答え：交互に出てくる「王の行進」と「馬のダンス」の旋律 「王の行進」→「馬のダンス」→「王」→「馬」の呼応

### 4. 鑑賞の学習(2時間)の展開を検討。

アイ2つの旋律とかかわり合い、その他の音楽を形づくっている要素とかかわり合いから、楽曲の構造に気を付けて聴く、という鑑賞の指導事項イを中心に展開を考える。